

# 子宮頸がん検診

## 【検査項目】

- ◆子宮頸部細胞診検査
- ◆経腔超音波（経腔エコー）検査

## ◆子宮頸部細胞診検査とは

子宮頸部の細胞を採取して顕微鏡で異常な細胞があるかを調べます。内診台に座っていただき、綿棒で子宮の入り口の部位（子宮頸部）を軽くこすり、細胞を採取します。

### 【注意していただくこと】

生理中の場合には正確な検査結果が得られない場合がありますので、時期をずらしていただきます。

細胞を採取する際に違和感や出血がある場合があります。

## ◆経腔超音波（経腔エコー）検査とは

超音波検査の一つで、腔内に細いプローブを挿入し子宮や卵巣などを観察します。挿入時に違和感を感じることはありますが、基本的に痛や出血はほとんどありません。

2～3分程度の検査です。

## 経腔超音波検査でわかることは

子宮の向きや大きさ  
子宮内膜の状態（厚さやポリープの有無）  
卵巣の性状

## 経腔超音波検査で見つかる代表的な疾患

子宮筋腫  
子宮腺筋症  
子宮内膜ポリープ、  
卵巣嚢腫  
卵巣腫瘍 など